

# 「キャリア入門」にふさわしい 珠玉の言葉、大切な出会い

去る12月4日、長崎大学の新しい教養基礎科目「キャリア入門」のキックオフを兼ねて、ジャパネットたかた前社長高田明さんによる講演会が、中部講堂で開催されました。家族経営の小さな写真店を一代で従業員約2,000名の日本を代表する企業にまで成長させた高田さんご自身の体験に基づき、人生や仕事に対する思いを存分に語っていただきました。軽妙な語りの中に、珠玉の言葉があふれ、聴講した500名の1年生の心に強烈なインパクトを残していただきました。キャリア教育とは学生それぞれが生き方そのものを考えることであり、その延長線上に就職があり仕事があるという「キャリア入門」の科目ポリシーにふさわしい講演会となりました。

特に私の印象に残った言葉があります。「やると決めたら懸命にやり続けること。そうすれば夢は必ずかなう。ただ、持てる力の100%では足りない。300%の力



を絞り出せ。そのためには頭を使え」、そして「自分のためだけではなく、家族や社員やお客様など誰かを幸せにすることに生きがいを感じながら仕事をせよ」。この2つの言葉です。そうすることにより、自然と仲間が増え、仕事の幅が広がり、

視界が開け新たな未来が見えてくるのだそうです。高田さんの半生からにじみ出た珠玉のメッセージです。

若者は、新たな出会いを通して、自らの個性を自覚し、夢を抱き、そして進むべき道を決めていきます。友や先輩との出会い、師や学問との出会い、仕事との出会い等々、出会いはさまざまです。その中に、人生を左右する大切な出会いがあります。私は、大学の最も大切な役割は、学生諸君にできるだけ多くの出会いの機会を提供することにあると思っています。今回の高田さんとの出会いは、聴講した多くの1年生の未来にとって間違いなく意味のあるものとなることでしょう。

片峰 茂

## CONTENTS

長崎大学広報誌  
[チョーホー]  
Choho Vol.58

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	「キャリア入門」にふさわしい珠玉の言葉、大切な出会い	1
特集	長崎大学の新しいキャリア教育	2
卒業生に聞く	永尾亜子さん	13
研究最前線	ガスセンサの高性能化と高機能化でガスの事故を未然に防ぐ	15
地域で活かされる長崎大学の「知」	長崎創楽堂アートマネジメント	17
グラバー図譜	ガンギエイ	19
Information	入学試験情報 クイズ & 編集後記	21

表紙のはなし

昨年10月に開催された九州大学秋季バレーボール男子リーグにおいて39チーム中5位の好成績を取った長崎大学全学男子バレーボール部。全国大会への出場権を獲得し、練習にも熱が入ります。

